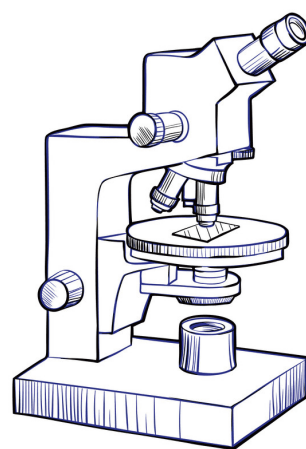


第5回 ジェンダー法政策研究所 公開シンポジウム

「女子枠」

は何を変えようとしているのか

高等教育におけるポジティブ・アクションの
国際比較から考える



POSITIVE ACTION INTERNATIONAL COMPARISON

理工系学部に進学する女性割合が低迷するなか多くの大学が、理工系学部入試に「女子枠」を設けるようになっていきます。

法的側面と政策的側面が混在する「女子枠」をめぐる議論の問題系を解きほぐすため、「女子枠」という個別制度の分析にとどまらず、高等教育におけるポジティブ・アクションの国際比較の観点から再整理し、「女子枠」の相対的位置づけを試みます。

PROGRAM

- ・司会 大山礼子（駒澤大学名誉教授）
- ・開会挨拶 辻村みよ子（東北大学名誉教授）
- ・企画趣旨 糠塚康江（東北大学名誉教授）

1. 問題提起：日本の「女子枠」から
三成美保（追手門学院大学法学部教授・奈良女子大名誉教授）
2. 高等教育をめぐるポジティブ・アクションの国際比較
韓国：石川裕之（京都女子大学高等教育開発センター教授）
インド：小原優貴（東京大学グローバル教育センター准教授）
アメリカ：吉田仁美（関東学院大学法学部教授）
フランス：齊藤笑美子（GELEPOCフランス支部長）
3. 質疑応答と比較討論



2026.

11.29 (日)

14:00 ~ 16:00



オンライン開催

zoom

事前申込制

お申し込みはQRコード、
もしくは下記URLから。

<https://forms.gle/T6CtZML7yg35hsW76>

